

【各円卓での議論の様子】





【各円卓の報告者】



沖縄県立芸術大学 波多野学長



沖縄女子短期大学 金城学長



沖縄工業高等専門学校 佐藤校長



ワークショップを進行する
和田琉球大学副理事・副学長



沖縄大学 山代学長



沖縄国際大学 安里学長



各円卓全体の様子

テーマ：企業・団体・行政機関が人材育成に関して高等教育機関（大学・短期大学・高等専門学校、専修学校（専門課程））に求めること

○出された意見は以下のとおり

A卓（沖縄県立芸術大学 波多野学長）

- ・最終的には人間力、課題に対して前向きに取り組むような調整力が必要である。
- ・教員（事務方も含む）と就職担当者との情報交換の場が少ないので増やして欲しい。
- ・専門性を活かしたうえでの汎用力が必要。

B卓（沖縄女子短期大学 金城学長）

- ・社会人基礎力として、考える力や当事者意識を持ち誠実に向き合う力が必要である。
- ・学生時代に地域のこと、沖縄県の独自性等を学ぶ機会を持つことが大切ではないか。
- ・学生の時にしかできない友人同士のネットワークや大学の教員とのつながりをどのように担保するのが今後必要。

C卓（沖縄工業高等専門学校 佐藤校長）

- ・沖縄県内の企業や文化をよく知らないでの、技術・科学・文化を学ぶと同時に沖縄愛を育てるような沖縄のことを学んでほしい。
- ・沖縄にどういった会社があるか、どういう特徴があるのかを知る機会を学校と企業、行政が連携しながら進めていくことが重要ではないか。
- ・県外就職後、中堅になって沖縄に戻ってきたい技術者がいるので、その受け皿、戻ってきやすい環境作り、企業とのマッチングをシステムティックに出きると良い。

D卓（沖縄大学 山代学長）

- ・離職率が高いことについて、大学側はすぐ辞めてしまう子のサポートはどうなっているのか。
- ・すぐ辞めてしまう子は大学の1年次前期からわかる。実は高校時代から（辞めることが）わかってきている。そのデータを集めることができるのではないか。

E卓（沖縄国際大学 安里学長）

- ・現在の学生は周りが見えていない、俯瞰することができず、自分中心で自部の選り好みだけで動いてしまう傾向がある。ネットの情報を鵜呑みにし、色々なアドバイスを受けることがなくなっている。
- ・離職率への対策は、インターンシップが有効ではないかと思うが、大学に入ってからでは遅いのでは？もっと早い段階で、小・中学校、校長協会などと連携して、沖縄の魅力的な企業を広く知ってもらうような仕組みができれば良い。